

松山宏先生年譜・論文目録

学歴

- 一九四一・三 三重県上野中学校卒業
- 四 松山高等学校入学
- 一九四三・九 松山高等学校卒業
- 一〇 京都大学文学部史学科入学
- 一九四六・九 京都大学文学部史学科卒業
- 一一 京都大学大学院入学
- 一九五三・三 京都大学大学院退学

職歴

- 一九四六・一〇 立命館第一中学校教諭
- 一九六九・四 奈良大学文学部助教
- 一九七五・七 奈良大学文学部教授
- 一九七七・四 奈良大学学生部長
- 一九八二・六 奈良大学図書館長
- 一九八五・四 正強幼稚園長兼務
- 一九八八・四 奈良大学文学部部長

一九九三・四 奈良大学大学院文学研究科文化財史料学専攻担当
一九九五・三 奈良大学退職

著 書

日本中世都市の研究 大学堂書店 一九七三・三
武者の府 鎌倉 柳原書店 一九七六・一一
守護城下町の研究 大学堂書店 一九八二・六
中世城下町の研究 近代文芸社 一九九一・六

論 文

思想史研究の課題 『新しい歴史学のために』三 一九五一・九
変革期の思想家 ―最澄― 『日本史研究』一六 一九五二・五
一向一揆の構造とその成立 『歴史評論』四三 一九五三・三
天正伊賀の乱 『伊賀郷土史研究』三 一九五四・一一
封建都市成立についての考察 『歴史学研究』一八〇 一九五五・二
封建都市成立期の商人層 『中世社会の基本構造』(御茶の水書房) 一九五八・六
都市の地域差 『読史会創立五十年記念 国史論集』 一九五九・一一
十六世紀末の都市 『私学研修』八 一九六〇・六
平安初期の商業と商人 『日本古代史論叢』 一九六〇・一一
伊賀における城下町の成立 『伊賀郷土史研究』四 一九六一・六

楽市掟について
 封建都市の確立と織豊政權
 古代の市と町について
 中世の町について
 教科書検定の問題をめぐって
 戦国時代の町について
 高校生の歴史意識
 教科書検定の問題点
 織豊時代の町について
 関ヶ原戦後の町について
 美濃・飛騨における城下形成の経緯
 備前福岡庄と福岡市
 守護城下の盛衰 — 美濃国革手について —
 鎌倉中末期の尾道の領主・海賊
 北畠満雅の蜂起と多氣
 京都市の小学校と地域住民
 土符についての二・三の考察
 伊賀における守護所の成立
 楽市と領主支配
 戦国時代の宇陀郡内一揆

『京都府私学論集』一	一九六三・三
『歴史教育』昭和三八年一一・一二合併号	一九六三・一一
『京都府私学論集』二	一九六四・三
『京都府私学論集』三	一九六五・三
『日本史研究』八〇	一九六五・九
『京都府私学論集』四	一九六六・三
『私社研』二	一九六六・三
『教育運動』八	一九六六・六
『京都府私学論集』五	一九六七・三
『京都府私学論集』六	一九六八・三
『京都府私学論集』七	一九六九・三
『月刊歴史』一三	一九六九・一〇
『中世の権力と民衆』（創元社）	一九七〇・六
『月刊歴史』一九	一九七〇・九
『小葉田淳教授退官記念 国史論集』	一九七〇・一一
『歴史地理教育』一九三	一九七二・二
『伊賀郷土史研究』五	一九七二・三
『赤松俊秀教授退官記念 国史論集』	一九七二・一二
『奈良大学紀要』一	一九七二・三
『奈良歴史通信』二〇・二一合併号	一九七三・三

仁木と伊賀上野

市に群がる人々

黒田長政と備前福岡荘

戦国時代の北畠氏と神官

南北朝時代の守護と守護所

大内氏の山口

中世都市と初期町衆

肥前の守護所綾部

園城寺古文書調査

『大乘院寺社雜事記』始末記

中世水運と尾道

園城寺古文書調査 一その一

守護大名と都市

中世都市と町

園城寺古文書調査 一その四

室町時代の越中国の守護と守護所

信濃国の守護と国人の城下

伊賀惣国一揆掟をめぐって

秘境伊賀

守護城下町の変遷

『古代学研究』六九

『東京書籍・高校通信』日本史Ⅲ

『歴史手帳』二―一二

『瑞垣』一一一

『中世日本の歴史像』（創元社）

『地方文化の日本史』五（文一総合出版）

『歴史地理教育』二七九

『FHG』五七

『園城寺』二九

『日本史研究』二二〇

『芸備地方史研究』三五・三六合併号

『園城寺』三六

『歴史公論』八

『日本の都市と町』（雄山閣）

『園城寺』四一

『国立歴史民俗博物館研究報告』八

『奈良史学』二

『地方史研究』二〇八

『伊賀郷土史研究』一〇

『政治経済史学』二四八

一九七三・一〇

一九七四・一二

一九七四・一二

一九七七・三

一九七八・七

一九七八・七

一九七八・七

一九七九・五

一九七九・一一

一九八〇・二

一九八〇・四

一九八一・六

一九八二・八

一九八二・二〇

一九八二・一一

一九八四・三

一九八四・一二

一九八七・八

一九八七・一〇

一九八八・二二

筒井高次の国替と伊賀上野

鎌倉時代の守護所

中世と史研究の諸問題

国人城下について

中世都市鎌倉と鶴岡八幡宮鎮座について

中世都市の条件について

辞典項目執筆

『日本史辞典』

『日本史研究事典』

『日本歴史大辞典』

『日本史図録』

『室町幕府守護職家事典』

地方史分担執筆

『香芝町史』・『三郷町史』

『桜井市史』

『三杉村史』(三重県)

『新庄町史』

『橿原市史』

『三重 ― その歴史と交流 ―』(雄山閣)

『奈良史学』七

『国史学』一四三

『日本中世社会の研究』小川信編(続群書類従完成会)

『悠久』四七

『奈良史学』一〇

創元社

創元社

河出書房

岩崎書店

新人物往来社

一九八九・一〇

一九八九・一二

一九九一・三

一九九一・五

一九九二・一〇

一九九二・一二

一九五四

一九五五

一九五六

一九五八

一九九一

一九七六

一九七九

一九八一

一九八四

一九八七